

変異株が猛威

コロナ封じ込めへ、政府は責任果たせ

共産党・志位委員長提起



日本共産党の志位和夫委員長は4月8日、国会内で記者会見し、東京都への新型コロナウイルス対応の「まん延防止等重点措置」適用をめぐり、「東京都での緊急事態宣言の解除後、わずか19日間で新しい規制措置を取らざるを得なくなったのは、政府がやるべきことをやってこなかった結果だ」と批判し、こんな姿勢のままでは変異株が猛威をふるう下で深刻な事態に陥りかねないと警告しました。「いま政府がやるべきこと」として以下の4点を提起。政府にその責任を果たすことを強く求めました。

感染源を探知する
モニタリング調査
1日あたり件数

共産党
提案
10万件

政府
目標
1万件

現状
779
件

1,大規模検査を本気で実行する

志位氏は、感染源を探知するためのモニタリング検査について、「内閣官房によれば、直近1週間で検査キットを配布した合計数は全国で5452件、1日当たり779件だ。『1日1万件』との政府目標からみても2桁、わが党の提起(1日10万件)からは3桁足りない(左図参照)。これでは到底、変異株の流行スピードに追いつけない」と批判。変異株の検査についても「全数検査の体制を一刻も早くつくりなければならない」と強調しました。

陽性になって生活や営業に支障が出る不安から検査をちゅうちょする実態があり、人員不足に陥る懸念から社会的検査に協力できない高齢者施設もあるとし、「生活保障、営業保障、人員保障を行い、安心して検査が受けられる環境をつくることも必要だ」と述べました。

2,十分な補償

志位氏は、営業時間短縮を要請されている飲食店への規模に応じた補償、持続化給付金の再支給、雇用調整助成金のコロナ特例の延長、生活困窮者への一律の給付金の支給などを求めました。

3,医療機関への減収補填など

志位氏は「経営的に医療機関が疲弊している状況を放置しては、危機に対応できない」と強調。すべての医療機関を対象に減収補填(ほてん)を行うとともに、「病床確保のた

めに、財政的な手だて、病院間の連携の手だてなど、あらゆる手だてを国の責任で取ることが急務だ」と述べました。

4,今夏の五輪中止の決断

志位氏は「聖火リレーすらできなくなっている。この期に及んで、思考停止で開催に暴走するのは許されない。直ちに中止を決断し、すべての力をコロナ収束に集中させるべきだ」と強調しました。

志位委員長の会見の動画は→



4.21 (水) オンライン 午後6時半より
日本共産党 東京演説会
志位委員長がお話します



YouTube 日本共産党東京都委員会チャンネルでライブ配信→



党都副委員長・医師 谷川智行 衆議院議員 笠井 亮 前衆議院議員 池内さおり 衆議院議員 宮本 徹 山添吉良子事務局長 坂井和歌子



ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2021年4月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝 1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

#比例は

日本共産党

変異株が猛威

コロナ封じ込めへ、政府は責任果たせ



共産党・志位委員長提起

日本共産党の志位和夫委員長は4月8日、国会内で記者会見し、東京都への新型コロナウイルス対応の「まん延防止等重点措置」適用をめぐり、「東京都での緊急事態宣言の解除後、わずか19日間で新しい規制措置を取らざるを得なくなったのは、政府がやるべきことをやってこなかった結果だ」と批判し、こんな姿勢のままでは変異株が猛威をふるう下で深刻な事態に陥りかねないと警告しました。「いま政府がやるべきこと」として以下の4点を提起。政府にその責任を果たすことを強く求めました。

感染源を探知する
モニタリング調査
1日あたり件数

共産党
提案
10万件

政府
目標
1万件

現状
779
件

1,大規模検査を本気で実行する

志位氏は、感染源を探知するためのモニタリング検査について、「内閣官房によれば、直近1週間で検査キットを配布した合計数は全国で5452件、1日当たり779件だ。『1日1万件』との政府目標からみても2桁、わが党の提起(1日10万件)からは3桁足りない(左図参照)。これでは到底、変異株の流行スピードに追いつけない」と批判。変異株の検査についても「全数検査の体制を一刻も早くつづらなければならない」と強調しました。

陽性になって生活や営業に支障が出る不安から検査をちゅうちょする実態があり、人員不足に陥る懸念から社会的検査に協力できない高齢者施設もあるとし、「生活保障、営業保障、人員保障を行い、安心して検査が受けられる環境をつくることも必要だ」と述べました。

2,十分な補償

志位氏は、営業時間短縮を要請されている飲食店への規模に応じた補償、持続化給付金の再支給、雇用調整助成金のコロナ特例の延長、生活困窮者への一律の給付金の支給などを求めました。

3,医療機関への減収補填など

志位氏は「経営的に医療機関が疲弊している状況を放置しては、危機に対応できない」と強調。すべての医療機関を対象に減収補填(ほてん)を行うとともに、「病床確保のた

めに、財政的な手だて、病院間の連携の手だてなど、あらゆる手だてを国の責任で取ることが急務だ」と述べました。

4,今夏の五輪中止の決断

志位氏は「聖火リレーすらできなくなっている。この期に及んで、思考停止で開催に暴走するのは許されない。直ちに中止を決断し、すべての力をコロナ収束に集中させるべきだ」と強調しました。

志位委員長の会見の動画は→



4.21 (水) オンライン 午後6時半より

日本共産党 東京演説会

志位委員長がお話しします



YouTube 日本共産党東京都委員会チャンネルでライブ配信→



ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2021年4月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社(港区芝 1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党